

平成 19 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 横川 紀夫
 (J A S D A Q コード番号 7918)
 問 い 合 わ せ 先

役職・氏名 常務取締役 正部一行
 電話番号 03-5155-6801

平成 20 年 3 月期 中間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当第 1 四半期における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成 19 年 5 月 22 日付当社「平成 19 年 3 月期 決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結中間業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	18,000	700	550	130	5 円 36 銭
今回修正(B)	17,000	200	150	30	1 円 24 銭
増減額 (B - A)	1,000	500	400	100	
増減率 (%)	5.6	71.4	72.7	76.9	
(ご参考)前期実績 平成 19 年 3 月期中間期	16,937	742	624	104	4 円 43 銭

2. 修正の理由

当第 1 四半期においては、外食サービス事業については、外食産業に対する逆風(食品に関する不祥事の再燃、飲酒運転の社会問題化による取締りの強化に対する影響等)が続き、(株)扇屋コーポレーションのロードサイド店の売上が大きく減少しております。また、新規出店に伴う一時費用の増加及び前期好調だった(株)日本システムのカードゲームビジネスについても終息時期が早まり、期首予想を下回る結果となっております。また、前期にグループに加わった(株)紅とん及び(株)パチャコム・ジャパンについても現状は開発・発展途上であり、営業損失であります。

その結果、中間期の売上高は前回予想を1,000百万円下回る17,000百万円を見込んでおり、利益面についても営業利益は前回予想を500百万円下回る200百万円、経常利益は400百万円下回る150百万円、当期純利益は100百万円下回る30百万円となる見込みです。

3.連結通期業績予想

連結通期業績予想につきましては、下期において外食サービス事業の主軸である(株)扇屋コーポレーションを中心に新規出店の積極的な展開を基本ベースとし、基本メニューの改定やランチメニューの導入、現場重点的組織への見直しを図ります。同時に外食サービス事業全体での業態変更も実施し、多様化した顧客のニーズ、環境の変化に対応した店舗運営を行ってまいります。刺身居酒屋「魚や一丁」を運営する(株)一丁については、内部の仕組みの充実と共に新規出店を加速し、収益の柱を築きます。また、低迷しておりました(株)フードリームも不採算店の撤退・インショップブランドのコンセプトの絞込みなどのブラッシュアップが奏功し、大幅な損益分岐点の引き下げに成功し、下期の業績向上を期待しております。

印刷流通事業については、(株)暁印刷による携帯電話配信用のデータ製作、コンテンツプロバイダー配信等により、書籍・雑誌印刷との相乗効果を図り、また、OPPラミネート加工の内製化によるコスト削減を図ってまいります。(株)日本システムについてはクリスマス商戦に向けたゲームソフトの開発、さらには、前期にグループに加わりました(株)パチャコム・ジャパンについては、オーガニック惣菜製品等の商品化などを視野に入れております。

その結果、通期の業績につきましては、上記の諸施策を実施することにより達成可能と判断しておりますので、変更はございません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上